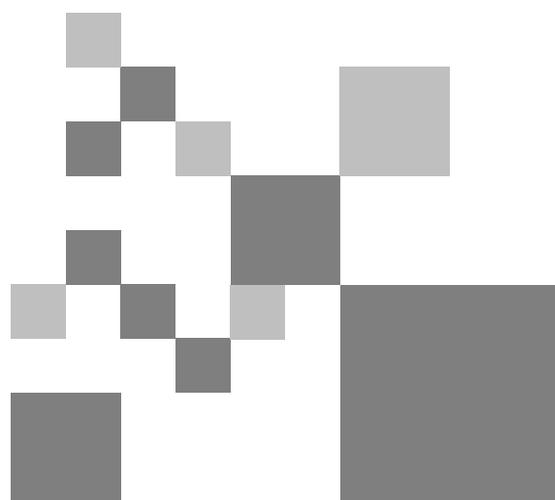




第4章

重点的に取り組む施策



1. 川根本町として訴求すべき観光イメージの確立

本町には、自然や温泉、鉄道などの多種多様な観光資源があります。SLや駅舎などはメディアに取り上げられるなどして、知名度がありますが、主要宿泊地でもある寸又峡は、最盛期に比べて宿泊客数は減少し、若い世代を中心に認知度が低い状況にあります。

全国各地に観光地が存在するなか、他のまちと差別化し、まちの観光資源を有効活用した唯一無二の観光を明確に打ち出していくことが必要です。

そのため、まちの魅力を想像させるイメージを確立し、観光地として町外並びに県外へ、広く知られるまちを目指します。

2. 観光・宿泊拠点のイメージアップ

千頭駅周辺や寸又峡、接岨峡は、かつて多くの観光客で賑わいをみせるなど、本町の観光振興において主要な拠点です。まちの今後の観光振興を考える上で、これらの3つの拠点については、交通アクセスの改善について引き続き、国や県に要望していくとともに、優先的に整備を推進し、観光・宿泊拠点としてのイメージアップを図っていくことが必要です。

そのため、各拠点における特徴や環境を考慮し、観光地としての性格づけや観光振興の方向性を明確にし、観光・宿泊拠点として整備すべき機能を明らかにしていきます。

3. 多様なニーズに対応した、テーマ性のある観光商品の開発と通年観光利用の促進

本町の観光の入込客数は、時期により大きく異なっており、年間を通じて安定した観光客の確保を図っていくことが求められています。特に冬の時期において観光が低迷しやすく、観光商品の開発に取り組むことが必要です。

加えて近年においては、ライフスタイルの変化により、観光におけるニーズが多様化しており、様々な観光商品が求められています。

そのため、本町の多種多様な観光資源を有効に活用し、通年における本町の観光商品の開発を進めていきます。